

第1回 精神保健福祉士の養成の在り方等に関する検討会

平成19年12月19日

参考資料2

# 精神保健福祉士国家試験 出題基準・合格基準

# 精神保健福祉士国家試験出題基準

## 1 出題基準の基本的性格

出題基準は、試験委員が試験問題を作成するために用いる基準であることから、次のような基本的性格を有する。

- (1) 出題基準は、あくまでも標準的な出題範囲の例示であって、出題範囲を厳密に限定するものではなく、また、作問方法や表現等を拘束するものではない。
- (2) 出題基準公表後の法改正による制度の重大な変更等、出題基準にない事項であっても、精神保健福祉士として習得すべき事項については、出題することができる。
- (3) 関係学会等で学説として定まっていなかったり、論議が分かれているものについては、その旨を配慮した出題を行う。

## 2 大・中・小項目の位置付けと関係

- (1) 大項目は、中項目を束ねる見出しであり、科目全体の範囲を示すとともに、出題の理念を示すものである。
- (2) 中項目は、試験の出題内容となる事項であり、試験問題はこの範囲から出題されることとなる。なお、中項目は、出題基準として、試験問題の出題範囲という観点から配列されているため、学問的な分類体系とは必ずしも一致しない。
- (3) 小項目は、中項目に関する事項をわかり易くするために例示した事項である。
- (4) 出題は、この出題基準に盛り込まれた事項に限定されるものではなく、法律、政省令等に規定されている事項、厚生労働白書などの広報を目的とした公刊物に記載されている事項などからも出題される。

## 3 試験科目別出題基準

試験科目別出題基準は、「別添」のとおりである。

精神医学

大項目	中項目	小項目
1 精神医学、精神医療の歴史と現状	1) 精神医学、精神医療の歴史と現状	①我が国及び国際的な動向
2 脳及び神経の生理・解剖	1) 脳及び神経の生理・解剖	
3 精神医学の概念	1) 精神医学の概念 2) 精神障害の成因と分類	
4 診断法	1) 診断の手順と方法 2) 精神症状と状態像 3) 心理検査と身体的検査	
5 代表的な精神障害	1) 症状性を含む器質性精神障害	①アルツハイマー型認知症 ②ピック病 ③脳血管性認知症
	2) 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	①アルコール依存症 ②覚醒剤依存症 ③大麻依存症 ④コカイン依存症
	3) 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	①統合失調症 ②パラノイア
	4) 気分(感情)障害(躁うつ病)	①うつ病性障害 ②躁病性障害
	5) 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	①不安障害 ②強迫性障害 ③解離性(転換性)障害 ④外傷後ストレス障害 ⑤適応障害
	6) 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	①摂食障害 ②睡眠障害 ③心身症
	7) 成人の人格及び行動の障害	①人格障害
	8) 知的障害	
	9) 心理的発達の障害	①特異的発達障害 ②広汎性発達障害
	10) 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	①多動性障害 ②行為障害 ③チック障害
	11) 神経疾患	①てんかん ②ハンチントン舞踏病 ③プリオン病
6 治療法	1) 身体的療法	①インフォームドコンセント ②薬物療法 ③電気けいれん療法
	2) 精神療法	
	3) 環境・社会療法	
	4) 精神科リハビリテーション	

7 病院精神医療及び地域精神医療	1) 病院精神医療	①精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法) ②入院患者の人権
	2) 精神科救急医療	①救急システム ②移送システム
	3) 地域精神医療	

## 精神保健学

大項目	中項目	小項目
1 精神保健についての基本知識	1) 精神保健の概要	①精神保健に関する基本的概念 ②精神保健に関する予防の概念
	2) 精神保健の意義と課題	①アメリカにおける精神保健 ②我が国における精神保健
2 ライフサイクルにおける精神保健	1) 胎児期及び乳幼児期における精神保健	①胎児期、乳幼児期の精神発達の特徴 ②育児困難と精神保健上の問題
	2) 学童期における精神保健	①学童期の精神発達の特徴 ②学校不適応、いじめと精神保健上の問題
	3) 思春期における精神保健	①思春期の精神発達の特徴 ②思春期問題行動と精神保健上の問題
	4) 青年期における精神保健	①青年期の精神発達の特徴 ②アイデンティティの危機と精神保健上の問題
	5) 成人期における精神保健	①成人期の一般的精神状態の特徴 ②中年危機と精神保健上の問題
	6) 老年期における精神保健	①脳の老化と精神の老化の特徴 ②老年精神障害、自殺予防と精神保健上の問題
3 精神保健における個別課題への取り組み	1) 精神障害者対策	①精神医療対策の変遷 ②社会復帰対策、福祉対策の展開
	2) 老人性認知症疾患対策	①知識の普及、相談活動及び早期発見、早期対応と予防 ②介護及び在宅ケアシステムと権利擁護システム
	3) アルコール関連問題対策	①アルコール関連身体症状及び精神症状の理解とアルコール依存症の理解 ②アルコール症の治療とアルコール依存症の地域ケア
	4) 薬物乱用防止対策	①薬物乱用の現状と依存性薬物の特性の理解 ②薬物乱用の治療と自助グループ育成及び地域ケアの重要性
	5) 思春期精神保健対策	①不登校、いじめ、性非行等の個別的な現状と背景 ②思春期問題に対応するためのシステムづくり

	6) 地域精神保健対策	①精神障害に関する正しい理解 ②地域ケアシステムの構築 ③地域住民の精神的健康を高めるための方法論とその活動
	7) ターミナルケアと精神保健	①QOL(生活の質) ②末期患者の症状 ③自己決定権に関する認識と病名告知 ④チーム医療の重要性
4 精神保健活動の実際	1) 家族における精神保健	①少子高齢社会 ②育児支援の充実 ③学校精神保健との連携 ④職場の精神保健との連携
	2) 学校における精神保健	①学校精神保健における課題 ②学校保健と子育てに関連する地域保健との連携
	3) 職場における精神保健	①労働安全衛生法 ②ストレス対策の充実 ③地域精神保健との連携
	4) 地域における精神保健	①地域保健活動の一環としての地域精神保健活動 ②精神障害者の地域ケアの推進と地域住民の精神的健康の増進
5 地域精神保健と地域保健	1) 地域精神保健施策の概要	①地域保健における目標、目的、方法の変遷 ②総合的な地域保健計画の充実と地域精神保健活動の関係
	2) 地域保健施策の概要	①母子保健法、地域保健法、精神保健福祉法の相互関連 ②精神保健福祉施策
	3) 関連法規	①障害者基本法、障害者自立支援法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、障害者雇用促進法、児童福祉法 ②教育基本法、学校教育法、学校保健法、労働基準法、労働安全衛生法
	4) 関連施策	
6 諸外国における精神保健	1) 世界的に見た精神障害と精神医療サービスの現状	
	2) 精神保健の世界的な流れ	

## 精神科リハビリテーション学

大項目	中項目	小項目
1 精神科リハビリテーションの概念	1) リハビリテーションの概念と歴史	① リハビリテーションの歴史 ② 障害の種類と国際分類
	2) リハビリテーションの理念、意義と基本原則	① リハビリテーションの理念と意義 ② リハビリテーションの基本原則
	3) 精神科リハビリテーションの概念	① 精神障害の現れ方とリハビリテーションのあり方 ② 精神科リハビリテーションの構成
	4) 精神科リハビリテーションの理念と意義	① 精神科リハビリテーションと人権
	5) 精神科リハビリテーションの基本原則と技法	① 当事者参加と主体性の回復及び個別性の重視 ② 生活環境への適応重視と再発防止の視点
	6) 我が国及び諸外国の精神科リハビリテーションの現状	① 我が国の精神科リハビリテーションの現状 ② 諸外国における精神科リハビリテーションの現状
2 精神科リハビリテーションの構成	1) 精神科リハビリテーションの対象	① 障害と障害者の定義及び国際障害分類の変遷 ② 我が国の精神障害の定義と障害に関する基本的アプローチ
	2) 精神科リハビリテーションにおける精神保健福祉士の役割	① 精神保健福祉士の業務内容 ② 精神保健福祉士の専門性と役割
	3) 精神科リハビリテーションに関わる専門職との連携	① 精神保健福祉関連の専門職(職名、養成課程、業務範囲) ② 専門職間の連携(連携のあり方、連携の方法、チーム構成)
	4) 精神科リハビリテーションの施設	① 病院、リハビリテーション施設 ② 社会復帰施設及びその他の社会資源(グループホーム、小規模作業所) ③ 精神保健福祉センター、保健所 ④ その他の協力機関、支援団体
	5) 精神科リハビリテーションの関連領域	① 知的障害者及び高齢者の入所、通所施設 ② ハローワーク及び職親

3 精神科リハビリテーションのプロセス	1)リハビリテーション計画	①リハビリテーション計画とアセスメント ②リハビリテーション計画における留意点
	2)アプローチの方法	①病院におけるリハビリテーション ②社会復帰施設及びその他の社会資源におけるリハビリテーション
	3)疾患の経過、ライフサイクルと精神科リハビリテーション	①疾病の側面及び生活の側面 ②年代ごとの生活課題とリハビリテーション
4 医療機関におけるリハビリテーション	1)作業療法及びレクリエーション療法	
	2)集団精神療法	
	3)行動療法	
	4)認知行動療法	①SST(生活技能訓練)
	5)家族教育プログラム	①心理教育
	6)デイケア及びナイトケア	
	7)精神科退院時指導、退院前訪問、訪問看護・指導	
5 精神保健福祉士が行うリハビリテーション	1)精神保健福祉士が関わる医学的リハビリテーション	①集団精神療法における精神保健福祉士 ②SST(生活技能訓練)における精神保健福祉士 ③デイケア及びナイトケアにおける精神保健福祉士 ④訪問看護・指導における精神保健福祉士
	2)社会的リハビリテーション	①日常生活への適応のための訓練 ②社会復帰のための相談・助言・指導
6 精神科リハビリテーションの総合化	1)地域リハビリテーション	①地域ネットワーク ②ケアマネジメント ③地域生活支援センターと訪問援助 ④家族会、セルフヘルプグループ ⑤ボランティアの育成と活用
	2)職業リハビリテーション	①就労援助活動の進め方 ②職業リハビリテーションサービス
	3)精神保健福祉施策と精神科リハビリテーション	①精神保健福祉法と精神科リハビリテーション施策の推進 ②障害者基本法、障害者プラン、障害者自立支援法と精神科リハビリテーション



## 精神保健福祉論

大項目	中項目	小項目
1 障害者福祉の理念と意義	1) 障害者福祉の理念	①障害者福祉の発達 ②ノーマライゼーション ③リハビリテーション ④QOL(生活の質) ⑤生活支援 ⑥自立と社会参加
	2) 障害及び障害者	①障害の概念 ②障害分類 ③精神障害の特性
	3) 障害者福祉の基本施策	①障害者基本法 ②障害者プラン
	4) 現代社会と精神障害者	①精神障害者の概念 ②精神障害者と家族 ③精神障害者と地域社会 ④精神障害者のノーマライゼーション
2 精神障害者の人権	1) 精神障害者の権利擁護	
	2) 精神医療における権利擁護	①精神医療審査会
	3) インフォームドコンセント	
	4) 地域社会における精神障害者の人権	
3 精神保健福祉士の理念と意義	1) 精神保健福祉の歴史と理念	
	2) 精神保健福祉士の意義	
	3) 精神保健福祉士の対象	
	4) 精神保健福祉士の専門性と倫理	
4 精神障害者に対する相談援助活動	1) 精神障害者を取りまく社会的障壁	
	2) 精神障害者の主体性の尊重	
	3) 相談援助活動の方法	①医療施設における相談援助活動 ②社会復帰施設等における相談援助活動 ③地域社会における相談援助活動
	4) 相談援助活動の事例	
5 精神保健福祉法、精神保健福祉士法等精神障害者に関する法律	1) 精神保健福祉法の意義と内容	
	2) 精神保健福祉士法の意義と内容	
	3) 関連法	①障害者自立支援法、医療観察法
6 精神保健福祉施策の概要	1) 精神保健福祉に関する行政組織	

	2)精神保健福祉に係る公費負担制度	①公費負担医療
	3)精神保健福祉施策の課題	①精神障害者保健福祉対策 ②社会復帰対策
	4)精神保健福祉における社会資源	①精神障害者保健福祉に関わる専門職との連携 ②社会資源
7 精神保健福祉の関連施策	1)雇用・就労	①障害者雇用促進法 ②ジョブガイダンス
	2)所得保障	
	3)経済負担の軽減	
	4)生活環境の改善	

## 精神保健福祉援助技術

大項目	中項目	小項目
1 精神障害者を中心とした社会福祉サービスと援助活動	1) 援助の適用と対象	①精神保健福祉法の理解と運用
	2) 社会福祉サービスと援助活動	社会資源活用の援助活動
2 精神障害者を中心とした社会福祉援助活動の目的・価値・原則及び方法等に関する共通課題	1) 社会福祉援助活動の目的と価値及び倫理	①権利擁護 ②職業倫理
	2) 社会福祉援助活動の原則	①自己決定 ②秘密保持
	3) 社会福祉援助活動の方法と過程	①医学モデルと生活モデル ②エンパワメント
	4) 社会福祉援助活動の共通課題	①契約・介入の意義と方法 ②面接の意義と方法 ③記録の意義と方法 ④評価の意義と方法 ⑤スーパービジョンの意義と方法 ⑥セルフヘルプグループ及びボランティア活動の意義と支援方法 ⑦ケアマネジメントの意義と方法 ⑧ネットワークの意義と方法 ⑨就労支援の意義と方法
3 専門的援助技術の体系	1) 直接援助技術の内容と機能	①個別援助技術 ②集団援助技術
	2) 間接援助技術の内容と機能	①地域援助技術 ②社会福祉調査法 ③社会福祉運営管理 ④社会福祉計画 ⑤その他(ソーシャル・アクション、ネットワーク)
4 精神保健福祉士と専門的援助技術	1) チームアプローチと専門的援助技術	①精神保健福祉士の役割と機能
	2) 社会資源活用の専門的援助技術	
	3) ライフサイクルに伴う精神保健福祉問題への専門的援助技術	
	4) 生活支援と専門的援助技術	
	5) 就労支援の専門的援助技術	
5 精神障害者を対象とした個別援助技術(ケースワーク)	1) 疾病及び障害に配慮した個別援助技術	①危機介入の援助技術 ②生活支援の援助技術
	2) 個別援助技術の実際と適用分野	
	3) 個別援助技術におけるスーパービジョン	
	4) 具体的事例検討	

6 精神障害者を対象とした集団援助技術(グループワーク)	1) 疾病及び障害に配慮した集団援助技術	
	2) 集団援助技術の実際と適用分野	①デイケアとグループワーク ②SST(生活技能訓練)
	3) 集団援助技術におけるスーパービジョン	
	4) 具体的事例検討	
7 精神障害者を対象とした地域援助技術(コミュニティワーク)	1) 地域援助技術の概念と基本的性格	
	2) 地域援助技術の具体的展開	①ノーマライゼーションの推進と住民参加 ②社会資源の活用と開発 ③地域社会における連携と調整機能 ④家族会、自助グループの支援 ⑤ボランティア等地域マンパワーの育成と活用 ⑥地域生活支援活動 ⑦雇用・就労支援活動
	3) 具体的事例検討	
8 精神障害者のケアマネジメント	1) ケアマネジメントの原則	①適用と対象 ②人権への配慮
	2) ケアマネジメントの意義と方法	①ケアマネジメントの意義と方法 ②関係機関との連携
	3) ケアマネジメントのプロセス	①インテーク ②ニーズの把握とその評価 ③目標設定と計画的実施 ④包括的サービスの実現 ⑤評価
	4) チームケアとチームワーク	
	5) 具体的事例検討	
9 精神障害者援助と関連専門職との連携	1) チーム医療における精神保健福祉士の役割と機能	
	2) 専門職等の役割と機能	
	3) チームアプローチ及び生活支援の理念と精神保健福祉士の役割と機能	
	4) 協力・連携による包括的保健・医療・福祉サービスの活用	
	5) 具体的事例検討	

## 社会福祉原論

大項目	中項目	小項目
1 現代社会と社会福祉	1) 社会福祉の理念	①人権尊重 ②権利擁護 ③自立支援
	2) 社会福祉の発達	①日本の社会福祉発達史 ②諸外国の社会福祉発達史
	3) 概念と範囲	①日本国憲法 ②社会福祉法 ③社会保障制度審議会
	4) 役割と意義	①保護・救済 ②援助・支援 ③自助・互助・公助
2 社会福祉の対象の把握方法	1) 対象	①政策 ②制度
	2) 視点	
	3) 方法	①実践 ②制度
3 社会福祉援助の具体的な形態と方法	1) 社会福祉援助の活動領域	
	2) 社会福祉援助の方法	①現金給付 ②現物給付 ③対人サービス
4 社会福祉援助活動における専門性と倫理	1) 専門性	①知識基盤 ②価値基盤 ③技能基盤
	2) 専門職	
	3) 専門資格	
	4) 他の関連専門職との連携のあり方	
	5) 社会福祉援助活動と倫理	①倫理要領
5 社会福祉専門職と資格制度	1) ソーシャルワーカー	
	2) 社会福祉士	①国家資格 ②業務独占と名称独占 ③各法の内容 ④業務と義務
	3) 精神保健福祉士	①国家資格 ②業務独占と名称独占 ③各法の内容 ④業務と義務
	4) 介護福祉士	①国家資格 ②業務独占と名称独占 ③各法の内容 ④業務と義務
	5) その他の福祉専門職	
6 社会福祉関係法制と実施体制及び財政の概要	1) 社会福祉法	
	2) 福祉六法及び関連法規の内容及び相互関係	①法律の性格と法制の体系 ②各法の内容と関係

	3) 社会福祉の実施体制	①福祉事務所 ②各種相談所 ③民生委員
	4) 社会福祉の財政と費用負担	①受益者負担 ②応益負担・応能負担
7 社会福祉をめぐる我が国及び諸外国の動向	1) 我が国の動向	①社会福祉基礎構造改革 ②措置と契約 ③女性福祉(婦人保護事業、DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律)) ④福祉文化
	2) 海外の動向	①グローバル化 ②国際福祉